

一般質問通告書

受領日時 令和5年6月5日 午前10時00分

8番 氏名 畑澤洋子

質問項目	質問の要旨
1 帯状疱疹ワクチンに公費助成を	(1) 帯状疱疹は夏に多く、一度罹患した人の6.4%が再発する。年齢的に60代70代に最も多い。日本の帯状疱疹にかかる医療費は年間260億円。65歳以上一人当たり62,094円、帯状疱疹後神経痛が残った場合の直接医療費一人当たり120,079円。痛みがない場合の直接医療費42,638円。神経痛が残った人は4人に一人の10万人。生ワクチンは5年から7年の効果があり、不活化ワクチンは2回接種で10年の効果が認められている。帯状疱疹ワクチンが医療費削減につながるのではないか。
2 「GIGA スクール構想」一人一台端末の利活用について	(1) 一人一台端末の利活用について地域間、学校間で格差が発生。改善に向けた対応が急務であると。(R4全国学力・学習状況調査結果)6年生の授業中の端末利用時間、利用科目等の現状は。端末導入が早い小中学校は端末更新が近づいている。町の小中学校の更新時期はいつか。 (2) 教師全員が同じレベルで端末を利用するための学習等はどのように行なわれているか。 (3) 不登校・特別支援・病气療養児童に端末で「個別最適な学び」と「共同的な学び」が出来るとの導入時の計画にあった。利活用はできているか。
3 小・中学校・子ども園に110番非常通報装置の設置を	(1) 学校等教育機関での凶悪事件が後を絶たない。緊急事態の発生と通報場所が、自動的に通報される「110番非常通報装置」は電話よりも早く正確に「緊急事態の発生」を知らせることができるシステム。全国では様々な事件が発生しており、何が起ころかわからない現代にあって、大事な子どもの命を守ることは、町にとっては最大の急務だ。児童生徒の安全の確保に、やりすぎるといふ事はない。装置の設置を。
4 「お役所言葉」やめましょう	(1) 堅苦しく分かりにくい「お役所言葉」を使った行政文書を見直そうと、全国の自治体で職員向けの手引を作成する動きが広がっていると、数社の新聞社が記事を書いていた。町でも同じ意見をお持ちの方が沢山いる。見直しチームを立ち上げ改善してはどうか。